

ネズミはどこから住宅に入ってくるのですか？

技術委員長 谷川 力

《質問》

ネズミはどこから住宅に入ってくるのですか？ (一都民)

《回答》

外部からの侵入経路

一般にネズミは通風口、戸袋、エアコンの導入口、増築宅との継ぎ目などから侵入します。また、床下が大きく開いている住宅では、どこからでもネズミは侵入できます。ネズミはこの床下から壁内を通して、天井裏まで移動ができます。一般に東京都ではクマネズミやドブネズミが多いので、それらの侵入できる隙間の幅は大人の指が2～3本入るような幅ですので、それを目安に侵入できるかどうかを確認ください。

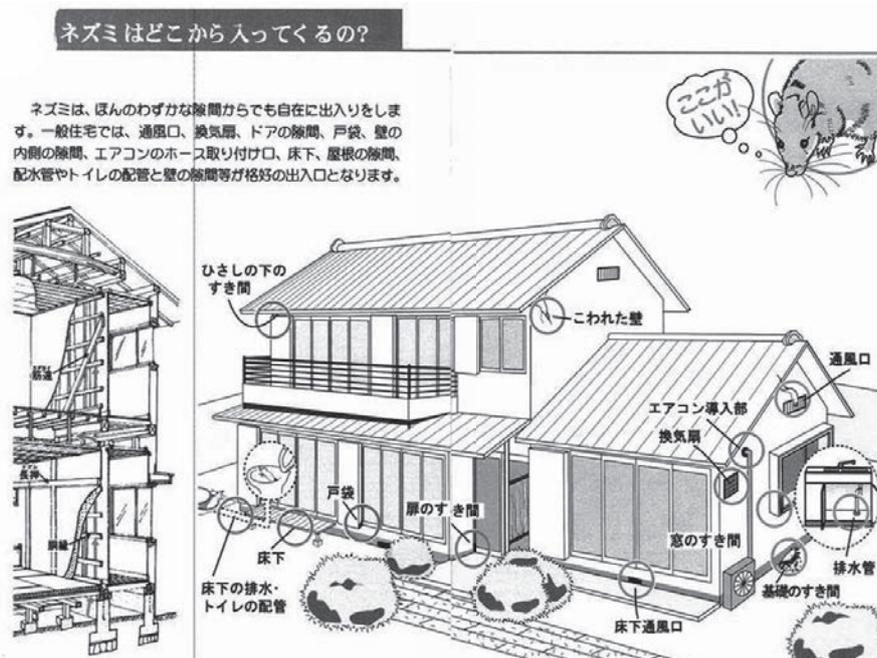
屋内への侵入経路

ネズミの屋内への侵入経路は、長押し、上がりかまち、配電盤、仏壇・神棚周囲、エアコンの導入口などがあります。他にも自らかじって穴を開けることもあります。

周囲の環境

家屋間が密接し、ネズミの移動が容易であり、商業区域が近隣にあると侵入しやすくなります。

詳しくは東京都ペストコントロール協会やねずみ駆除協議会のホームページをご確認ください(図1)。



(図1)ねずみの侵入路(ねずみ駆除協議会HPより)

ネズミはどこから住宅に入ってくるのですか？ 質問の窓(第17回)

《質問》

どのような対策をとればいいですか？

《回答》

ネズミの食べ物を無くす

最も基本的な対策の一つです、ネズミが居ると言うことは何らかの食べ物があり、その被害もある場合が多いです。餌となる食べ物、厨芥、ペットの餌、および仏壇のお花やお供え物などを片付けます。なお、天井だけで足音が聞こえ、屋内での形跡が無い場合もあります。いずれにしても天井裏は調査すべきです。

整理整頓をする

ネズミの生息しやすい家は片付けができない、使わない部屋があるなどの原因があります。整理整頓はネズミの侵入口を見つけやすくなり、営巣場所を探すのに有効です。最近では断捨離と言うように一度、思い切って捨てるのも一つの対策です。

侵入口を塞ぐ

ネズミの侵入口をみつけて、それを塞ぎます。最も簡易的な方法は亀甲金網を利用します。亀甲金網は柔らかい(針金の細い)材質のものを利用し、隙間にねじ込みます。隙間が無いようにするのが重要です。

捕獲をする

ネズミ用のトラップを使用します。最も汎用

されているのは粘着トラップです。粘着トラップにも糊の量が少ない安価なものは捕獲できません。捕獲をするには複数のトラップを配置すると効果的です。また捕獲カゴも利用できます。エサは嗜好性が高く、やわらかい魚肉ソーセージ、サラミ、チーズ、さつま揚げなどが利用されます。これらは劣化しますので、常に新しい餌を利用します。ただし、捕獲されたネズミの処理が面倒です。

殺鼠剤を利用する

殺鼠剤は死んだネズミがどこに出るかわからない。腐敗するなどの理由で使いにくいと思われています。しかし、中毒したネズミは粘着トラップで捕獲しやすいこともあります。できればトラップ類と併用して使いたいところです。なお、殺鼠剤にもいくつかの種類がありますが、一般には抗凝血性殺鼠剤が安全性も高く、利用しやすい薬剤になります。

複数の対策を実施する

以上の対策は一つひとつでは大きな成果が出ませんが、複数の方法を組み入れると効果が高くなります。なお、東京都ペストコントロール協会では害虫相談員が居ますので、気軽に相談してください。